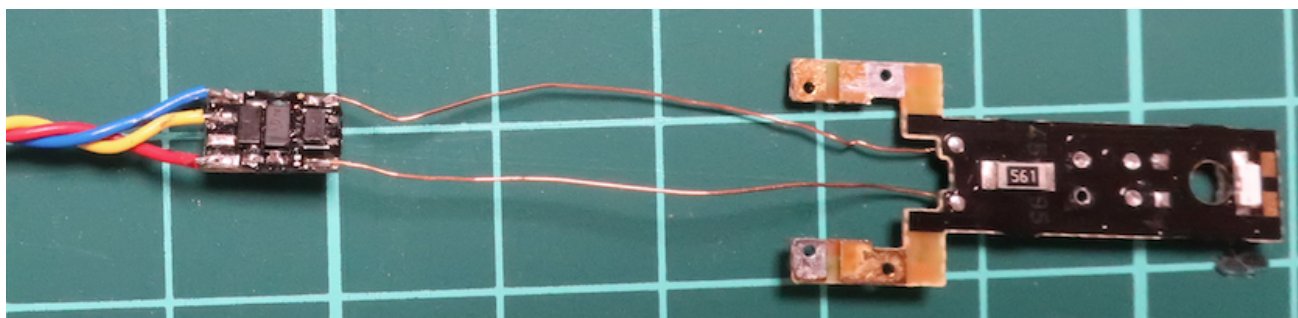


両極性化基板

AYA014-2

このマニュアルは、片極性タイプのファンクションデコーダをライトユニットに無改造で取り付け方法について説明しています。



ご注意

接続間違いや過負荷により、コーダーが故障したり、発熱したり、する場合があります。ご使用には十分お気をつけください。

1. 特徴

本基板は直流用ヘッドライト・テールライトが実装されている車両のライトユニットを無改造でDCC化してしまおうと考案して生まれた基板です。

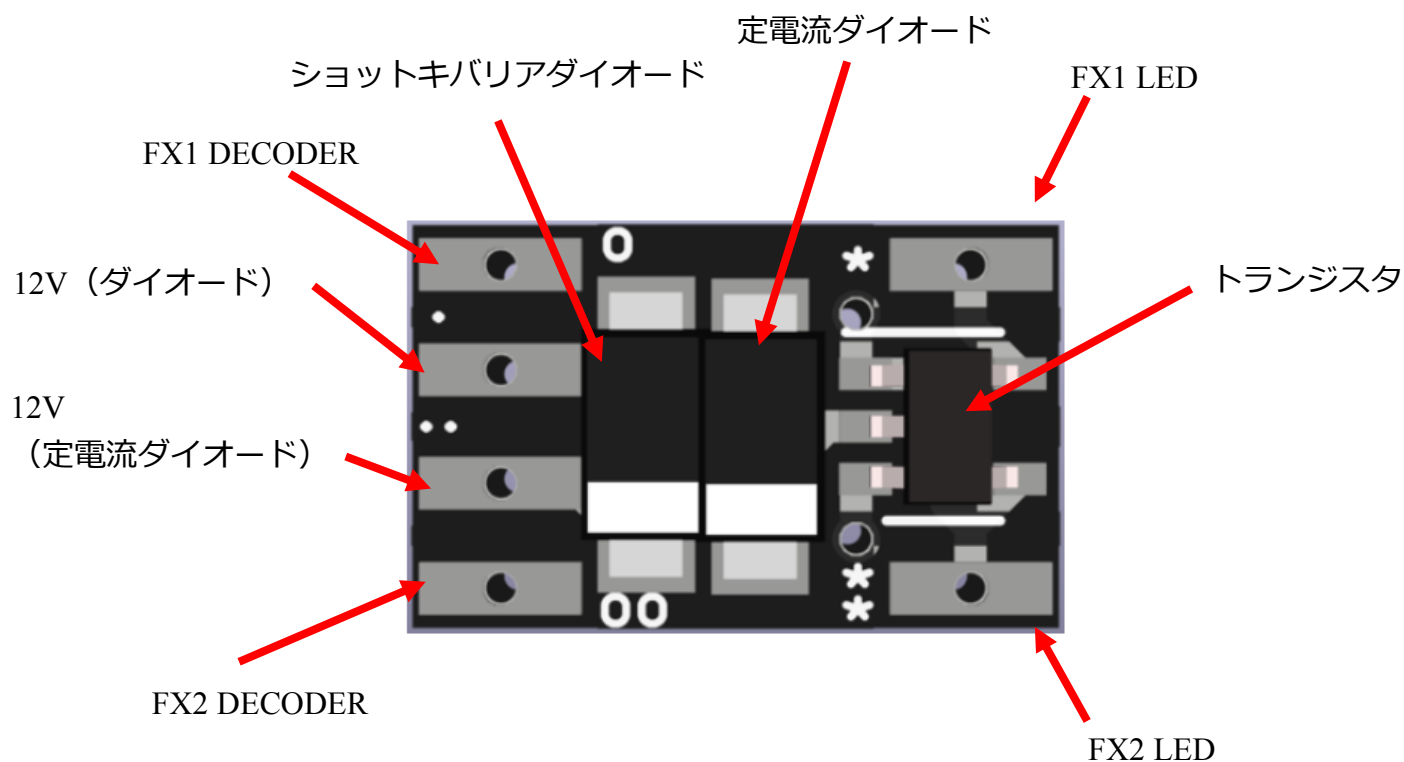
基板の大きさが7mm x 7mm と非常にコンパクトです。

一方、大変作りにくくなっております・・・

2. 仕様

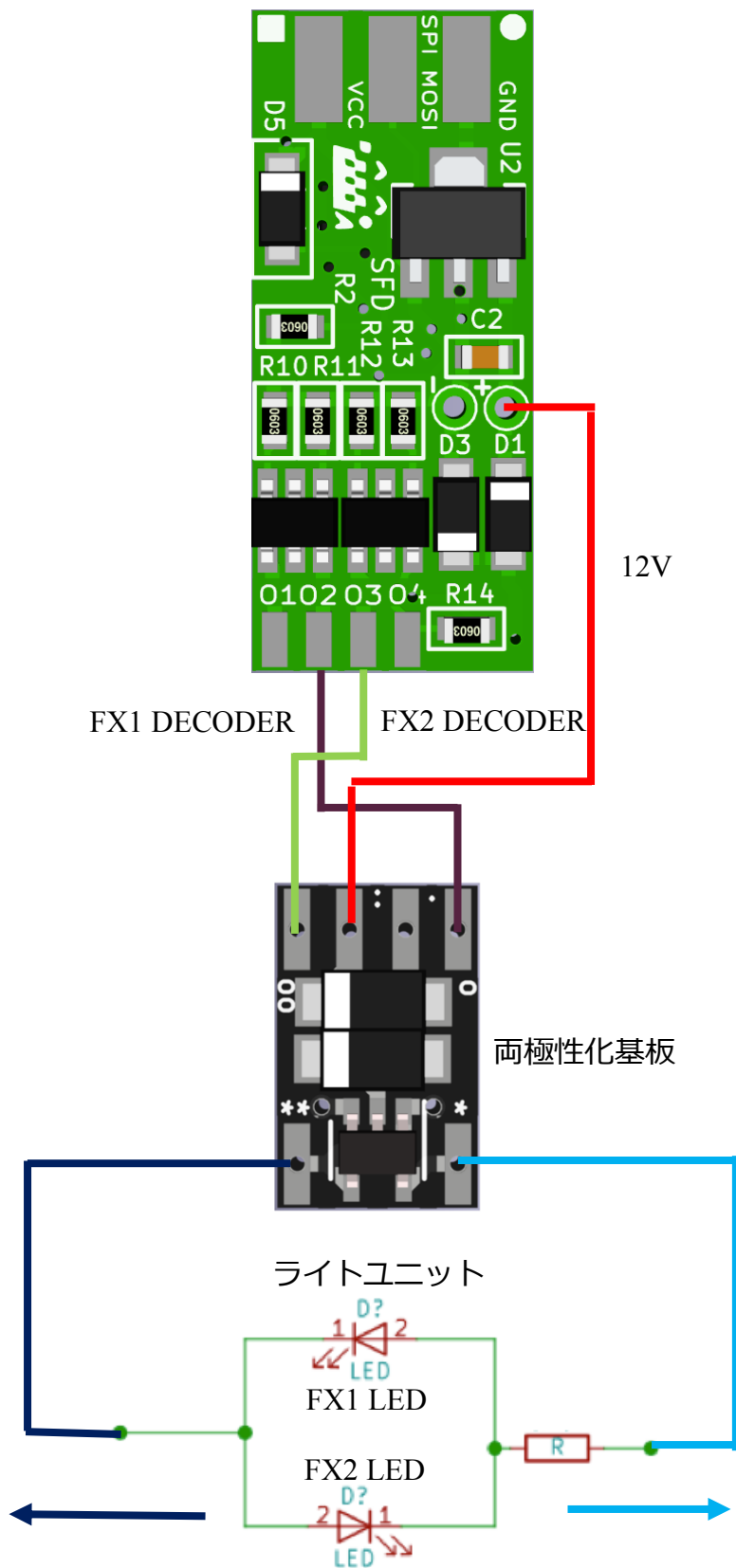
項目	詳細
トランジスタ	Rohm UMA1N 2素子内蔵複合デジタルトランジスタ
定電流ダイオード	定電流源 IC(20mA) NSI45020AT1G
ショットキダイオード	1N4148W-7-F Fast Switch Diode 100V 150mA SOD-123
トランジスタ電流	最大 100mA ただし、定電流ダイオードで制限されます。
寸法	8 mm x 5 mm
質量	約 1 g

3. 外観説明



4. デコーダーとの接続

Smile Function デコーダーとの接続例です。



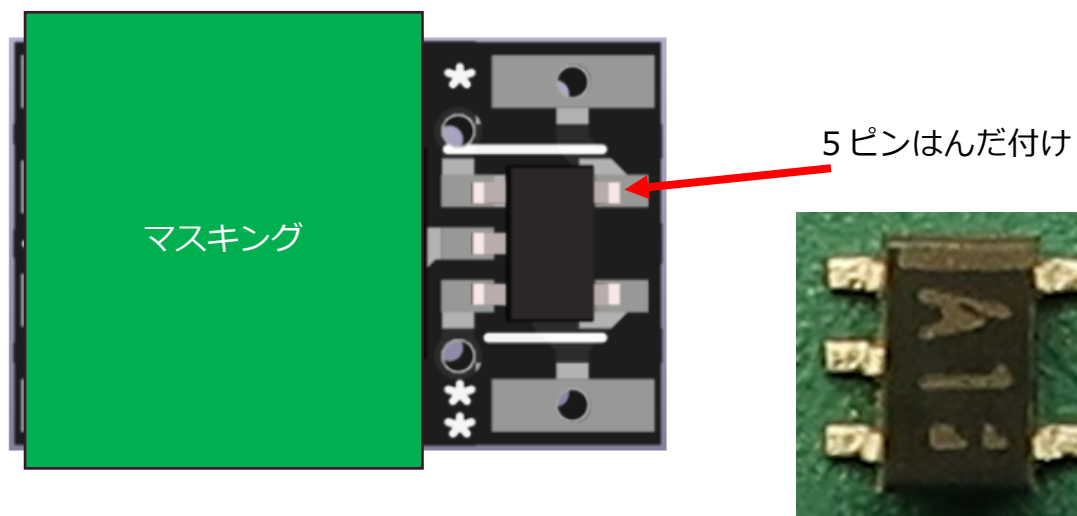
5. 両極性化基板の作り方

1) 道具の準備

- ・先の細いハンダごて
- ・細いハンダ
- ・ピンセット
- ・ルーペ（サージカル ルーペ、拡大鏡、etc)
- ・マスキングテープ
- ・フラックス
- ・はんだ吸い取り網

2) トランジスタの実装

5ピンだけハンダを付けて、位置が定まったら、4ピンをハンダつけ。



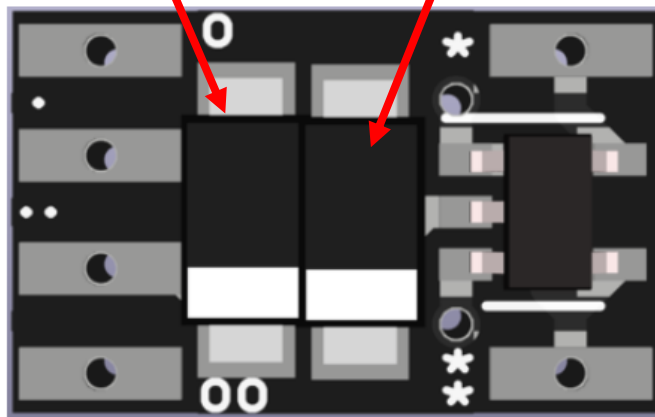
1～3ピンをハンダつけるときは、D2のPADにマスキングテープを貼り付けます。
フラックスと併用すると作業しやすいです。

3) ダイオード、定電流ダイオードの実装

ショットキバリアダイオード

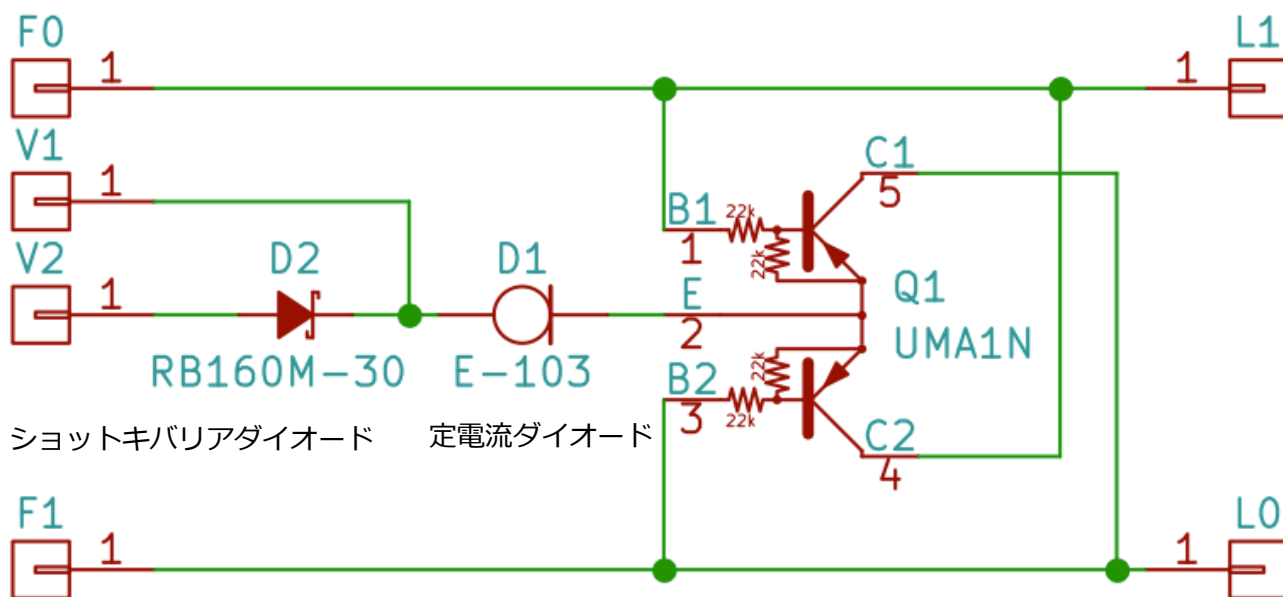


定電流ダイオード



極性を間違わないように実装します。

6. 回路図



7. V1,V2 端子の使い分け

ブログ参照

<http://ayabu.blog.shinobi.jp/%E4%B8%A1%E6%A5%B5%E5%8C%96/>

DZ126 を使用するとき、V2

その他デコーダーは V1 を使用します。

両極性化基板 取扱説明書

初版 : 2018/3/29

2 版 : 2019/6/9

3 版 : 2019/10/9

DCC 館

問合せ先

Web:http://desktopstation.net/index_jp.html

7 Web:<http://dcc.client.jp/>



本製品に関する仕様、価格、デザインは予告なく変更する事があります。予めご了承ください。安全に組み立て、お使いいただくために、ご使用前は必ず「取扱説明書」をご覧ください。誤動作、誤組み立て等によって、人身事故や物損事故に至る事が考えられますので、しっかりチェックした上でご使用してください。

当社の製品は、十分な知識がある方の監修のもとでご使用ください。